

 **今日のゴール** 一般動詞を使って、自分の一日をドキュメンタリー番組のナレーションふうで紹介しよう。

STEP 1 お手本を読んで、声に出してまねしよう。

▼ ナレーション(BGMを想像しながら…)

I **get up** at six.

I **eat** toast and **drink** milk.

I **go** to school with my friend.

After school, I **practice** soccer. I **like** soccer very much.

一般動詞は「動き・習慣」の動詞。at six(時刻)や with my friend(だれと)を足すと、ぐっとドキュメンタリーらしくなる。

STEP 2 使える表現(この中から選んで使おう)

get up

eat / drink

go to ~

play / practice

watch / read

at ~(時刻)

after school

STEP 3 自分の一日から「番組で見せたい場面」を3つ選んでメモしよう。

朝	
昼～放課後	
夜	

STEP 4 ナレーション原稿を書こう(4文以上。時刻や場所を1つは入れる)。

✓ お手本と表現バンクを見ながらでOK。まちがいを恐れず、まず書いてみよう。

STEP 5

ペアで「ナレーター読み」をして、相手の一日から発見を1つ見つけよう。

できたらチェック：

☐ ① ペアでナレーター風に読み合う(低い声・ゆっくりが番組っぽい)

☐ ② 相手の一日から「へえ！」と思ったことを1つメモ

☐ ③ グループで「〇〇さん発見ニュース」を一言ずつ発表(Kenta gets up at five! ――三単現は次の単元で本格登場。先取りでOK)

自己評価

できたところに ○ をつけよう(正直に！)

ふりかえりの観点	◎ よくできた	○ できた	△ もう少し
① 内容 言いたいことが相手に伝わった			
② 正確さ 習った表現を正しく使えた			
③ 流暢さ あまり止まらずに言えた			
④ 態度 相手を見て、聞こえる声で言えた			

ふりかえり

次はどうしたい？ できるようになったこと・次の目標を1つ書こう。

☆発展チャレンジ！ 土日バージョンも作ってみよう。平日と同じ動詞でも I get up at ten on Sunday. ――時刻が変わるだけで別の番組になる！

先生へ(この教材のねらいと進め方)

ねらい:一般動詞の肯定文を、自分の生活のナレーションという場面で量産させる。導入・定着ドリル(bs1-general-verb-drill)の次に置く応用の1枚。

進め方:モデルをナレーター風に範読(教師が演じるほど生徒も乗る)→ メモ → 原稿 → ペア読み合い。③の発見ニュースは三単現の先行体験として機能する(正確さはまだ求めない)。

見取り:主語Iの脱落／動詞の選択が場面に合っているか／時刻・場所の付加。評価は裏面の4観点で。